



のびゆく双葉

毎日更
新中！

No. 1

双葉小ホームページ <https://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/futaba-e/>

「何のために」「なぜ」を問い、答えを探す

少し遅れて咲き始めた校庭の桜は、その時を待ちわびていたかのように一気に咲きそろう、暖かな春の到来に彩を添えています。

令和6年度がスタートしました。始業式を行った体育館には、2年生以上の子供たちの明るい笑顔の花が咲き、新年度の始まりにふさわしい緊張感とやる気に満ちていました。

双葉小学校は、今年度も、子供たちが、毎日笑顔で通うことができる「思いやり・知りたい・元気」がいっぱいの学校を目指します。一人一人の思いを大切に、子供たち自身が、願いや思いを実現できるよう、職員が丸となって支援・指導をいたします。また、子供たちが安心、安全な学校生活を送れるように努めていきます。ぜひ、保護者や地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いします。

さて、始業式の中で「令和6年度も、大きな成長につながった昨年度の取組の大半を継続すること」とともに、「今年度、新たに挑戦してほしいこと」について話をしました。子供たちに伝えた内容を一部紹介します。

いろいろなことに挑戦して、毎日ワクワクドキドキしたいみなさんのことですから、「昨年度と全く同じ」では面白くありませんよね。安心してください。今から、今年度新たに加わることを伝えます。

それは、いろいろな事に取り組む時に「何のために？」と「なぜ？」を考え、その答えを探して行ってほしいということです。ごめんなさい。新しいこと…と言ったけれども、実は、これも昨年度に少しだけ、みなさんがお試しで「挑戦」しているのです。

「ふたばっ子チャレンジタイム」と「ふたばっ子発表会」にこれから取り組むよって時、初めに「この行事は何のためにやと思う。」と先生から尋ねられませんでしたか。

そう、それを今年度は、行事や学級活動だけではなく、教科の学習、つまり、国語や算数、体育や図工など、いろいろな教科でも考えてみてほしいのです。

「なぜ、国語の勉強をするのだろう。」「体育のとび箱は、何のためにやるのだろう。」
どうですか。いままであまり考えてこなかった、新しい挑戦になると思いませんか。

もちろん、みなさんだけが考えたり、答えを探したりするのではなく、先生も「何のために」「なぜ」の答えを考えながら、みなさんとともに学びを進めていきます。たぶん、友達や仲間の「何のために」「なぜ」は、あなたが見つけた答えとは少し違うと思います。一つの学習や活動を終えた時、ともに学んできた友達や先生は、どんな答えにたどり着くのでしょうか。聴いてみたくなりませんか。

先生方は、みなさんが「やりたい」という思いがあふれ出てくる授業を、一生懸命考えて準備していきます。だから、みなさんも一人一人が「やりたい」という気持ちになって、学校行事や校外学習などと同じように、「何のために」「なぜ」を考えながら、みんなでいろいろなアイデアや方法を出し合って、話し合って、最高に楽しいと感じられる活動を創りあげて行ってほしいと思います。「ひと・もの・こと」とともに、「何のために」「なぜ」を考え「やりたいこと」を見つけて挑戦して、令和6年度を双葉小のみなで、楽しく充実した1年間にしましょう。

(校長 藤井隆志)

－令和6年度双葉小学校の教育活動がスタートします－

さわやかな春風が吹き、校庭の花々が色鮮やかに咲いています。お子様の御入学・進級おめでとうございます。

双葉小学校は、「夢に向かってともに伸びゆく子」を学校教育目標に掲げ、「思いやりがいっぱい（徳）」「知りたいがいっぱい（知）」「元気がいっぱい（体）」を合言葉にキャリア教育を核とした教育活動を推進しています。

本年度は、学校教育目標の『ともに』のキーワードを昨年度の子供たちの姿に表れていた「認め合い」「支え合い」「励まし合い」「助け合い」という意味であることを押さえ、様々な教育活動を通じて、さらに子供たちに思いやりの心を育み、自分も友達も大切にすることができ子育てていくことができるよう、教職員の姿で、態度で、行動で、子供たちに『人を思いやることの大切さ』を伝えていきます。

さらに、本年度は「なぜ？」「何のために？」を問い掛け、子供たちがその答えを考え、探しながら行事や学習に向かう機会を設定することによって、「ひと・もの・こと」とのかかわりをより自分事として捉えて、これまで以上に「『やりたいこと』を見つけて挑戦する」ことができるようにしていきたいと考えています。

子供たちの成長した姿をイメージし、愛情と情熱をもちながら、大切に子供たち一人一人を育てていきます。本年度も御理解と御協力をよろしくお願いします。

双葉小学校職員一同

【学校教育目標】

夢に向かって ともに 伸びゆく子



下線のある項目はこれまでに引き続き、本年度も重点項目としています。